



21世紀を主体的に生きる

～新しい自分との出会い～

兵庫県立太子高等学校は創立53年、総合学科として16年。聖徳太子ゆかりの地で、自ら学び続ける姿勢を追い求め、常に進化し続けています。

《教育目標》

本校の主要な教育目標は自ら学び続ける生徒を育てることです。その目標設定の土台には本校が総合学科高校として蓄積してきた社会と教育に対する見方や生徒の学習に対する考え方があります。

本校はこの目標を達成するためのカリキュラムを「太子メソッド」と名づけています。

《総合学科の取り組み》

1. 「キャリア教育」の推進

様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、自らの意思と責任で社会人として自立していくことができる力を身につけます。

2. 「確かな学力」の育成

身につけた知識・技能を活用して自ら課題を解決し、応用することができる力を身につけます。

1年次：マイフューチャープラン発表



2年次：ポスターセッション



3年次：研究論文発表会



プレゼンテーション能力の向上

「産業社会と人間」自分の適性や可能性を見つけ自己の在り方や生き方について主体的に考えます。進路ナビ、インターンシップを活用して、職業観、進路についての学習を深めていきます。

1年次 産業社会と人間

将来を見せる力

「基本探究」興味関心に応じて生徒自身が課題を発見し探究活動を通して知識や技能を身につけます。教科・科目を横断する学際的な学習の基盤を育みます。

2年次 基本探究

学習を深め発展させる力

「総括探究」基本探究をもとに探究活動の深化を図り、その成果を8,000字の論文にまとめ発表します。自己の可能性を拓き生涯設計の基礎を築いていきます。

3年次 総括探究

学習を継続させる力

令和3年度合格体験記より



「消防士」

柳生 蒼太 (西はりま消防組合)

私はこの度、西はりま消防組合と神戸市消防局から内定をいただき、西はりま消防組合に勤務することになりました。消防士は小さい頃からの憧れでした。太子高校では主将として野球部に所属し、体を鍛えて消防士の試験に備えました。また、チームをまとめるためお互いの考え方を大切に作る雰囲気をつくることに努力しました。消防士の試験はとても特殊で、教養試験、体力試験、小論文、集団面接、適正検査、資質検査などたくさんの試験があります。その中でも面接試験がとても大切になります。野球部の主将を務めたことで他の人にはない自分だけの強みを持って面接試験に挑むことができました。また太子高校では1年生の時から将来の職業や進路について詳しく学ぶ機会が多くあります。熱心に面接練習をして下さる先生もたくさんいます。皆さんも太子高校で進路実現に向かって頑張ってください！

「周囲の意見を聞くことの大切さ」

井上 和樹 (兵庫県立大学社会情報科学部)

高校三年間、私は美術部に所属していました。展覧会で他校の生徒からの客観的なアドバイスを聞く機会が多くあり、そういった経験から「周囲の人たちの意見を聞く」ということがとても重要だと気付くことができました。私がこの大学を志望した理由は、社会に貢献できるデータサイエンティスト(データ分析の専門家)になるのに最適な進学先だと考えたからです。受験は学力のみではなく高校三年間の活動や態度を総合的に見る公募制の推薦入試で受験をしました。進路について悩んでいるときは、担任の先生や進路指導室の先生方に相談し、周囲の意見をよく聞いて決めました。入試内容は小論文、数学、面接でしたが、先生方の添削やアドバイスによる指導が良い結果につながったのだと思います。皆さんも自己実現のための計画を立て、周囲の人たちの意見を聞き目標に近づいて下さい。